

重点施策		社会教育施設の整備充実			評価実施者		所 属	社会教育課
					職・氏名		課長 景由隆寛	

重点施策の概要	目 的	市民の社会教育活動を支える施設を整備するとともに、継続した社会教育活動が進められる環境づくりに取り組みます。						
	今年度の主要事業	①スポーツセンター第2体育館の耐震改修工事の実施 及び 第1体育館の改修工事実施設計。 ②新パークゴルフ場整備工事実施 ③B&G海洋センター桟橋及びトイレ改修工事実施						

事業の目標と実績	区 分		単位	H25	H26	H27	特記事項	
	1	社会教育施設の整備	目標	文京台ソフトボール場設置	スポーツセンター無償譲受	・スポーツセンター第2体育館耐震改修工事		主な施設整備・改修工事を記載
	2		実績	教育支援センター録音室設置	陸上競技場4種公認改修工事	・スポーツセンター第1体育館実施設計		
	3		目標	音楽公民館外壁工事 総合福祉センター廃止	サイクリングターミナル廃止 文化センター屋上防水工事 総合福祉センター解体	・新パークゴルフ場整備工事 ・B&G海洋センター整備		
			実績					

事業の分析効果の検証	①スポーツセンター第2体育館の耐震改修工事及び第1体育館の耐震等改修工事の実施設計を行い、避難所としての安全性を確保しつつ、暖房設備の更新、トイレ改修など利用者の利便性等も向上させた。
	②新パークゴルフ場については2期目の工事を完了。次年度(H28)に駐車場、コース備品設置工事等を予定し、整備工事を完了する見込みで、H29オープンを予定する。
	③B&G海洋センター桟橋及びトイレバリアフリー化工事を実施。障がい者の方の利便性を向上させた。また、パラカヌー競技艇の配備をB&G財団に要請したところ、寄贈いただき、パラカヌー競技の推進及び合宿誘致の推進を進める上での環境整備が進んだ。

課題	①屋外スポーツ施設の整備について、計画的な進め方の検討が必要。 ②文化センターを含め、文化ゾーンに位置する施設はいずれも改修の課題を抱えており、個別の施設改修ということではなく、ゾーンとして持続可能な施設運営を視点においた計画策定が必要。
----	--

評価	A	評価の視点1 期待どおりの効果があったか 実施を予定した事業についてはすべて予定通り完了。
		評価の視点2 施策の目的を達成するため、事業見直し等の必要があるか 検討課題(屋外スポーツ施設、文化ゾーン等)について、継続的に検討を行い計画策定等を実施する。

【評価の区分】

A: 期待どおりの成果が得られ、今後も事業を継続する
 B: ほぼ期待どおりの成果が得られたが、さらなる発展のため事業を見直す余地がある
 C: 概ね期待した成果は得られたが、事業の見直しが必要である。
 D: 期待する成果が得られず、廃止も含めた見直しが必要

事業の今後の方向性	体育施設ではスポーツセンター第1を平成28年度までに耐震化等工事を終わらせ、文化芸術施設については、方針・スケジュールについて、スピードを上げて決定していく。 ☐ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☐ 質的向上 ☐ スピードアップ ☐ 検証 ☒ 継続
-----------	--

◎外部評価委員の評価・意見等

点検・評価に関するコメント	文化面での事業も重点として実施してほしい。
---------------	-----------------------